

<b>会計名</b> 一般会計			<b>給食調理事業</b>				<b>担当部</b> 教育部	
<b>款</b> 10			<b>項</b> 6				<b>担当課</b> 学校給食センター	
<b>目</b> 4			<b>分野</b> 教育文化 学校教育 学校給食の充実				<b>課等長名</b> 竹内 仁	
							<b>作成者</b> 三浦 俊和	
P A L A N 事業概要	<b>目的</b>	安全で栄養バランスのとれた給食を、小中学校及び幼稚園へ提供する。				<b>主たる内容</b>	○第一学校給食センター 中学校・幼稚園給食約7,500食を直営にて調理 ○第二学校給食センター 小学校給食約9,500食を民間業者委託にて調理 鶏卵アレルギー対応給食を実施	
	<b>対象者</b>	小学生・中学生・幼稚園児						
	<b>実施方法</b>	一部委託	<b>位置づけ</b>	<b>関連計画</b>				
	<b>事業期間</b>	不明 ~	<b>根拠法令</b>	学校給食法、学校給食センター条例、規則				
B D O 実績	<b>20年度実績</b>		<b>21年度実績</b>		<b>22年度実績</b>		<b>23年度計画</b>	
	・給食回数 小学校186回 中学校184回 幼稚園180回 延3,042,141食		・給食回数 小学校182回 中学校180回 幼稚園176回 延2,954,314食		・給食回数 小学校185回 中学校184回 幼稚園179回 延3,013,468食		・給食回数 小学校189回 中学校189回 幼稚園185回 延3,131,157食	
	<b>成果</b> (できたこと)	安全で栄養バランスのとれた給食が提供できた。 小学校に鶏卵アレルギー対応給食が実施できた。 旬の食材を使用した献立が提供できた。 リクエスト献立及び応募献立による給食が実施できた。						
	<b>課題</b> (できなかったこと)	学校からの給食残さいを減らすこと。 給食費の未納が増加してきていること。						
	<b>指標名称</b>			<b>実績値</b>			<b>目標値</b>	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
給食残量率			-	-	8.6%	8.1%	7.1%	
<b>他市との比較検証</b>		給食費(円):岡崎市小240、中275 豊田小240、中270 碧南小220、中250 安城小235、中270 西尾小240、中270 知立小220、中250 高浜小250、中285 みよし小220、中250 刈谷小220、中250						
C 事業コスト	<b>総事業コスト</b>	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位:千円			931,470	944,964	7 賃金	53,140,450 円	
	事業費	810,227	844,171	877,832	888,627	11 需用費	699,147,327 円	
	特定財源		663,268	677,356	708,514	12 役務費	2,846,277 円	
	一般財源		180,903	200,476	180,113	13 委託料	122,697,750 円	
	職員人件費			53,638	56,337	合計		
建設事業	全体事業費		0	備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費		0					
	24年度以降の事業費見込							

会計名			<b>給食調理事業</b>	担当部	教育部
一般会計				担当課	学校管理課
款	項	目		課等長名	竹内 仁
10	6	4		作成者	三浦 俊和

		各視点からの評価		評価の理由・特記事項	内部評価総括			
CHECK(評価)	D 内部評価	必要性	高い	児童・生徒の心身の健全な発達に資する必要性の高い事業である	<p>栄養バランスのとれた安全で安心な給食を提供している。</p> <p>食事を通して児童生徒に正しい食生活を身につけさせ、日常生活における食事について、正しい理解と望ましい習慣を養っている。</p> <p>献立作成に当たっては、児童の発案したメニューを取り入れたり、生徒のリクエスト献立を採用するなど、参加型の献立等を取り入れ、豊かで魅力ある学校給食の実践を図っている。</p> <p>鶏卵アレルギー対応給食を代替食等で小学校で実施している。</p>	行政評価委員の総括	評価年月日	平成23年8月3日
	効率性	高い	第二学校給食センターは調理業務を民間委託済み。第一学校給食センターは建替え時に調理業務を民間委託に移行					
	妥当性	高い	学校給食法で位置づけされている					
	施策への貢献度	高い	給食センターにおける根幹事業であり、食に関して総合的に学習するよう事業推進を図っている					
E 外部評価	<p>○ 食育施策ということでは、小中学校だけでなく高校で給食を出してもおかしくないのではないか。</p> <p>○ 給食費の未納対策では、学校の先生が徴収に行くのではなく、先生には授業に専念してもらいたい。能力の使い方が間違っており効率が悪い。税の徴収に長けた人にやってもらう方がより良い教育サービスの提供としても望ましい。</p>							